

令和3年度 社団法人  
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

# 各研究班精度管理調査結果報告

---

臨床化学検査

渡邊 景介（東海中央病院）



# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ 評価方法 日臨技の評価方法に準拠した。

項目	評価方法		A	B	C
Glu	項目一括評価	平均値からの±%偏差	2.3%	5.0%	7.5%
T-BIL	方法別評価	平均値からの±mg/dl	±0.10mg/dl	±0.20mg/dl	±0.30mg/dl
NA	項目一括評価	平均値からの±mmol/L	±2mmol/L	±3mmol/L	±4mmol/L
K	項目一括評価	平均値からの±mmol/L	±0.10mmol/L	±0.20mmol/L	±0.30mmol/L
CL	項目一括評価	平均値からの±mmol/L	±2mmol/L	±3mmol/L	±4mmol/L
Ca	項目一括評価	平均値からの±%偏差	1.0%	4.08%	6.12%
IP	項目一括評価	平均値からの±%偏差	3.5%	5.0%	7.5%
Fe	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
Mg	項目一括評価	①平均値からの±偏差 ②平均値からの±%偏差	①±0.1mg/dl ②5.0%	①±0.2mg/dl ②5.0%	①±0.3mg/dl ②7.5%
TP	項目一括評価	平均値からの±%偏差	1.20%	3.31%	4.97%
ALB	項目一括評価	平均値からの±%偏差	1.3%	5.0%	7.5%
UA	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
BUN	項目一括評価	平均値からの±mg/dl	①±1.0mg/dl ②±3.0mg/dl	①±1.0mg/dl ②±3.0mg/dl	①±3.0mg/dl ②±4.0mg/dl
CRE	項目一括評価	平均値からの±mg/dl	①0.10mg/dl ②0.20mg/dl	①0.10mg/dl ②0.20mg/dl	①0.20mg/dl ②0.30mg/dl

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

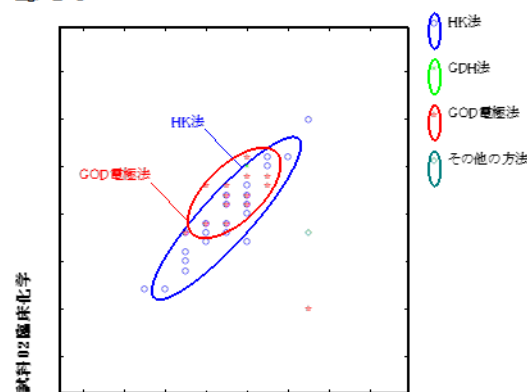
項目	評価方法		A	B	C
T-CHO	項目一括評価	平均値からの±%偏差	4.5%	5.0%	7.5%
TG	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
HDL-C	試薬別評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
LDL-C	試薬別評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
CRP	項目一括評価	①平均値からの±mg/dl ②平均値からの±mg/dl	①0.05mg/dl ②0.20mg/dl	①0.10mg/dl ②0.30mg/dl	①0.20mg/dl ②0.40mg/dl
AST	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
ALT	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
LD	項目一括評価	平均値からの±%偏差	3.9%	5.0%	7.5%
ALP	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
AMY	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
CK	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
GGT	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
ChE	項目一括評価	平均値からの±%偏差	4.7%	5.0%	7.5%
HbA1c	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ Glu

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
ヘキソキナーゼ法	34	58	33	65
ブドウ糖酸化酵素電極法	18	30	15	25
グルコキナーゼ法	0	0	0	2
ブドウ糖脱水素法	1	2	1	1
ブドウ糖酸化酵素法	0	0	0	0
ドライケミストリー法	4	7	6	8
未回答・その他	2	3	1	—

グルコース-統計  
mg/dL 1



総件数: 53

n: 34

n: 1

n: 17

n: 1

試料01 臨床化学

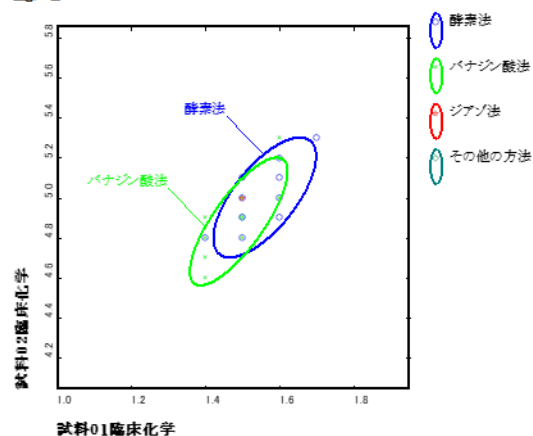
試料	全体	
	試料①	試料②
mean	95.3 (95.3)	255.3 (262.0)
SD	1.8	3.9
CV%	1.84	1.53

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ T-BIL

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
酵素法	26	45	25	41
パナジン酸酸化法	24	41	21	48
亜硝酸酸化法	0	0	0	0
ジアゾ法	1	2	2	1
ドライケミストリー法	5	9	7	9
未回答・その他	2	3	1	—

総ビリルビン-統計  
mg/dL 1



総件数: 52

酵素法 n: 26  
 パナジン酸法 n: 24  
 ジアゾ法 n: 1  
 その他の方法 n: 1

試料	全体	
	試料①	試料②
mean	1.52 (1.40)	4.95 (4.78)
SD	0.07	0.15
CV%	4.71	3.06

測定法	試料①	試料②
	mean	mean
酵素法	1.56	5.00
パナジン酸酸化法	1.49	4.88

2次サーベイ施設2施設  
(未回答・その他 試料②2施設)

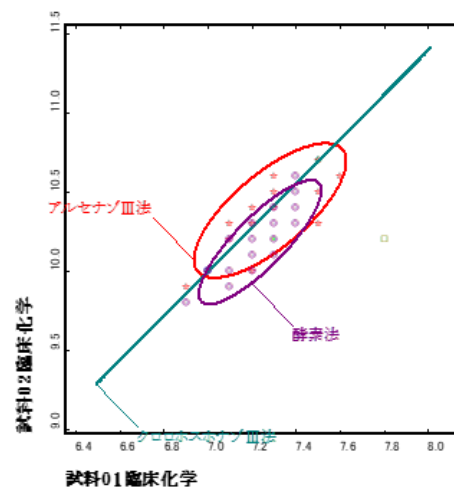
評価C・D⇒A  
(是正方法不明)

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## Ca

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
酵素法	26	46	28	26
OCPC法	1	2	2	4
アルセナゾⅢ法	20	35	15	51
MXB法	1	2	1	4
クロロホスホナゾⅢ法	2	3	3	6
ドライケミストリー法	5	9	6	8
未回答・その他	2	3	—	—

カルシウム統計  
mg/dL 1



総件数: 51

- OCPC法 n: 1
- MXB法 n: 1
- アルセナゾⅢ法 n: 20
- クロロホスホナゾⅢ法 n: 2
- 酵素法 n: 26
- その他の方法 n: 1

	全体	
試料	試料①	試料②
mean	7.25 (7.04)	10.27 (10.52)
SD	0.15	0.22
CV%	2.07	2.10

2次サーベイ3施設  
(アルセナゾⅢ法 試料①1施設、  
①②1施設、その他試料①1施設)

評価C・D⇒A・B  
アルセナゾⅢは  
(再キャリ・試薬交換)

その他試料① 評価C⇒D



データの収束による影響か?

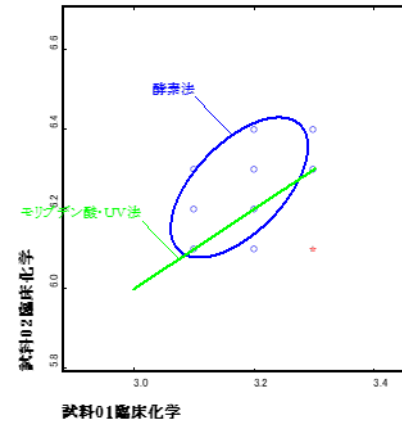
# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ IP

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
酵素法	44	94	43	86
モリブデン酸・UV法	2	4	2	10
モリブデン・ブルー法	1	2	1	1
ドライケミストリー法	0	0	1	3

	全体	
試料	試料①	試料②
Mean	3.18	6.25
SD	0.06	0.09
CV%	1.76	1.37

無標リン統計  
mg/dL 1



総件数: 47

- 酵素法 n: 44
- モリブデン酸・UV法 n: 2
- モリブデン・ブルー法 n: 1

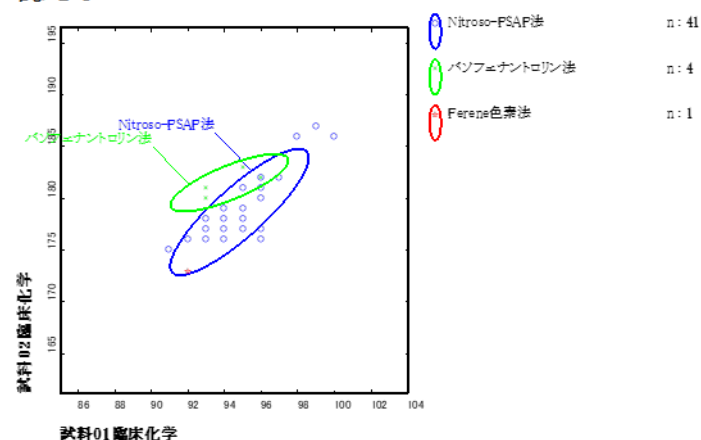
# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ Fe

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
Nitroso-PSAP法	41	89	37	85
バソフェナントロリン法	4	9	5	12
Ferene色素法	1	2	2	1
ドライケミストリー法	0	0	0	1

血清鉄-統計  
μg/dL 1

総件数: 46



	全体	
試料	試料①	試料②
mean	94.6	178.8
SD	1.6	2.9
CV%	1.68	1.65

2次サーベイ施設2施設  
(Nitroso-PSAP法試料①1  
施設 ①②1施設)

評価C・D⇒A  
(再キャリ、試薬交換)

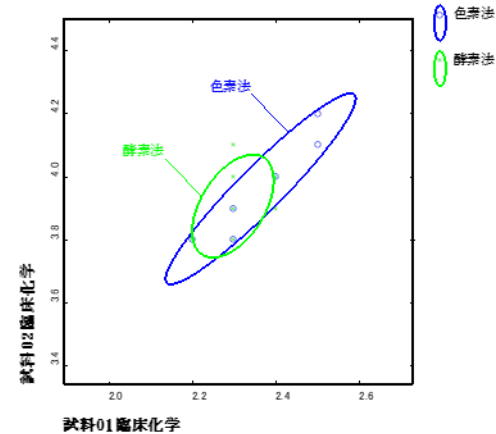


# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ Mg

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
酵素法	25	76	24	70
色素法	8	24	7	28

マグネシウム-統計  
mg/dL 1



総件数: 33

n: 8

n: 25

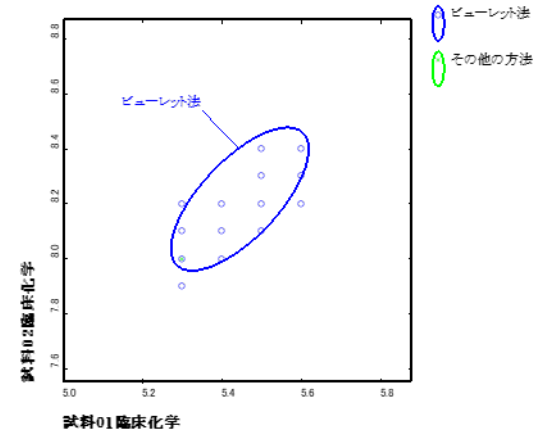
	全体	
試料	試料①	試料②
mean	2.31	3.92
SD	0.07	0.10
CV%	3.01	2.45

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ TP

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
ビューレット法	51	88	48	91
ドライケミストリー法	5	9	6	9
未回答・その他	2	3	1	—

総蛋白-統計  
g/dL 1



	全体	
試料	試料①	試料②
mean	5.44 (5.44)	8.21 (8.46)
SD	0.08	0.12
CV%	1.51	1.50

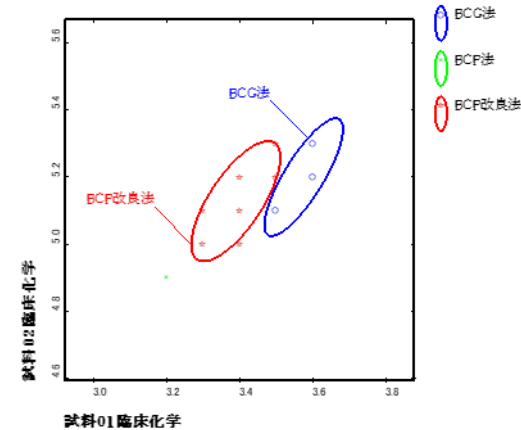
# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ALB

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
BCG法	4	7	4	11
BCP改良法	46	85	42	80
BCP法	1	2	2	2
ドライケミストリー法	3	6	5	7
未回答	0	0	1	—

全体	試料①	試料②
mean	3.40 (3.00)	5.13 (5.03)
SD	0.08	0.09
CV%	2.35	1.76

アルブミン-統計  
g/dL 1



総件数: 51

n: 4

n: 1

n: 46

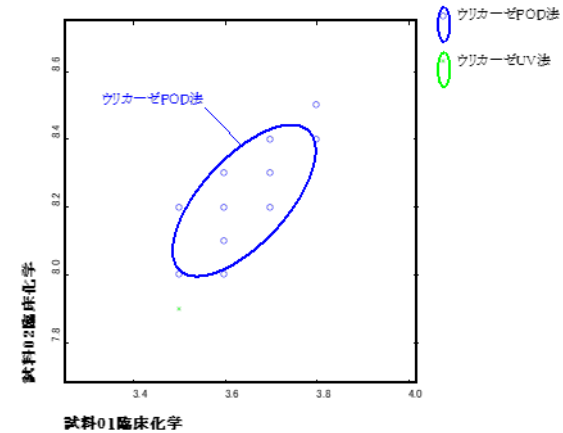
# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ UA

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
ウリカーゼ・POD法	51	93	47	91
ウリカーゼ・UV法	1	2	2	2
ドライケミストリー法	3	5	5	7

尿酸-統計  
mg/dL 1

総件数: 52



	全 体	
試料	試料①	試料②
mean	3.64 (3.63)	8.21 (8.13)
SD	0.07	0.11
CV%	2.05	1.36

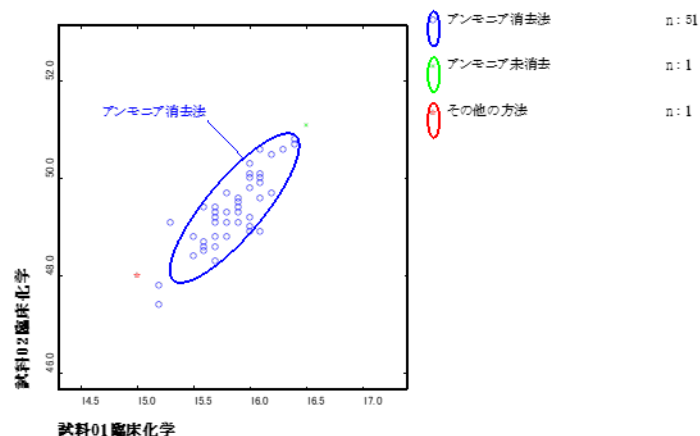
# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ BUN

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
アンモニア消去, 回避法	51	86	47	86
アンモニア未消去法	1	2	2	4
ドライケミストリー法	5	8	7	10
未回答・その他	2	3	1	—

尿素窒素-統計  
mg/dL 1

総件数: 53



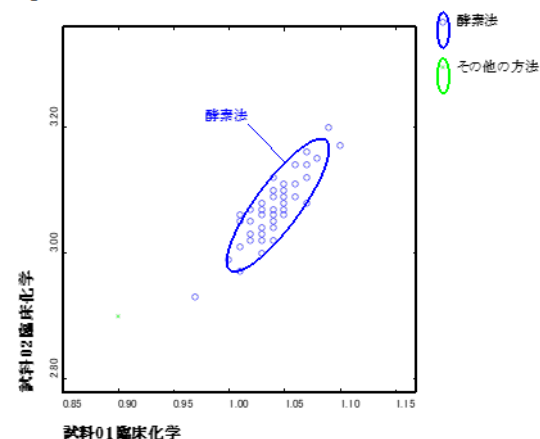
	全体	
試料	試料①	試料②
mean	15.84 (16.74)	49.39 (50.80)
SD	0.32	0.76
CV%	2.02	1.54

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ CRE

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
酵素法	52	88	49	90
ドライケミストリー法	5	8	6	10
未回答・その他	2	3	1	—

クレアチニン-統計  
mg/dL 1



試料	全体	
	試料①	試料②
mean	1.044 (0.956)	3.067 (3.056)
SD	0.021	0.061
CV%	2.05	2.00

2次サーベイ施設2施設  
(未回答・その他①② 1施設  
①1施設)

評価C・D⇒A・C  
(是正方法不明)  
Cはどちらも試料①

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ T-Chol

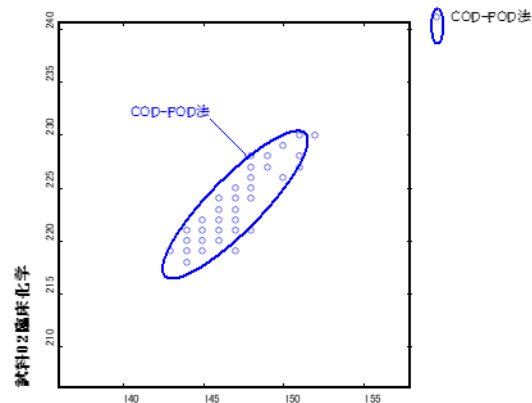
測定法	施設数	%	前年数	日臨%
コレステロール酸化酵素法	50	94	46	94
コレステロール脱水素酵素法	0	0	0	0.4
ドライケミストリー法	3	5	5	6

総コレステロール-統計

mg/dL 1

総件数: 50

n: 50



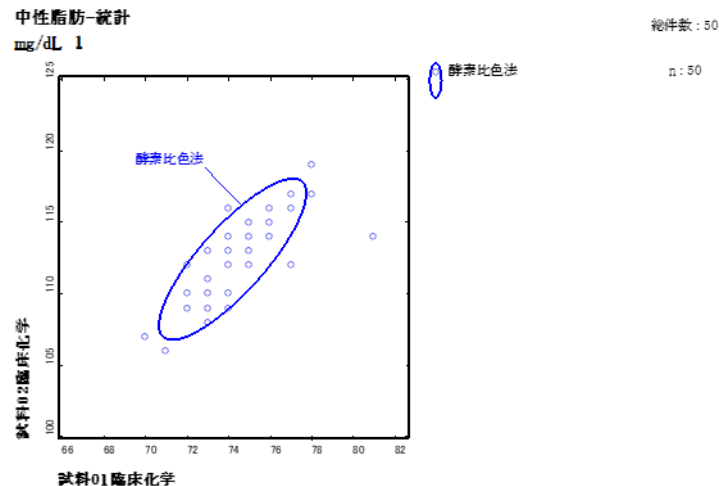
試料01臨床化学

試料	全体	
	試料①	試料②
mean	147.0 (142.7)	223.5 (227.3)
SD	2.10	3.30
CV%	1.43	1.46

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ TG

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
酵素比色法	51	94	47	94
ドライケミストリー法	3	6	5	5



	全体	
試料	試料①	試料②
mean	74.2 (92.7)	112.5 (144.7)
SD	1.60	2.60
CV%	2.22	2.32

2次サーベイ施設4施設  
(酵素比色法 試料①2施設、  
試料② 2施設)

評価C、D⇒A  
(再キャリ、試薬交換、  
機器点検)

1施設でD評価あり。2次サーベイ希望されず



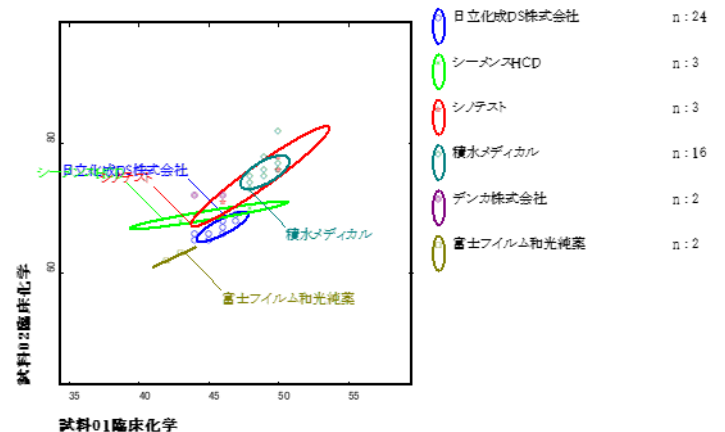
# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ HDL-C

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
ミナリス(旧日立化成)	24	45	23	46
积水メディカル	17	32	15	33
デンカ生研	2	4	2	3
シノテスト	3	6	3	4
和光純薬	2	4	2	5
シーメンス	2	4	2	3
ドライケミストリー法	2	4	4	4

試料	全体	
	試料①	試料②
mean	46.6 (43.0)	70.7 (74.5)
SD	2.10	4.70
CV%	4.49	6.59

HDL-コレステロール統計  
mg/dL 1



メーカー別 集計	試料①			試料②		
	mean	SD	CV%	mean	SD	CV%
积水メディカル	49.1	0.80	1.69	75.6	1.20	1.59
ミナリス	46.0	0.90	1.87	67.2	1.10	1.58
シノテスト	48.7	2.30	4.75	75.0	3.60	4.81

2次サーベイ施設1施設  
(积水メディカル 試料②1施設)

評価D⇒C  
(再キャリ、試薬交換)

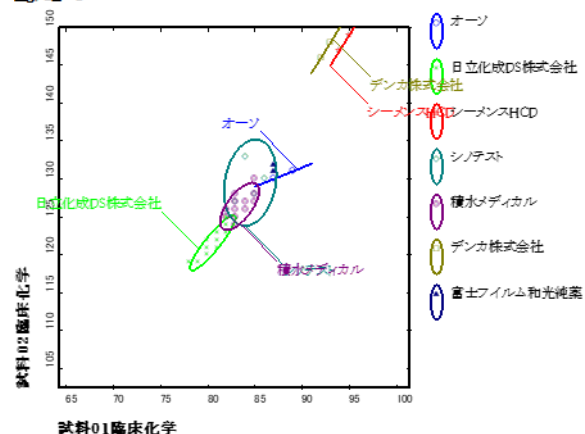
# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## LDL-C

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
ミナリス(旧日立化成)	23	45	22	47
積水メディカル	16	31	14	34
デンカ生研	2	4	2	5
シノテスト	4	8	4	4
和光純薬	2	4	2	5
シーメンス	2	4	1	2
オーソ	2	4	2	1

LDL-コレステロール-統計

mg/dL 1



総件数: 51

- オーソ n: 2
- 日立化成DS株式会社 n: 23
- デンカ株式会社 n: 2
- シーメンス n: 2
- シーメンスHCD n: 2
- シノテスト n: 4
- 積水メディカル n: 16
- デンカ株式会社 n: 2
- 富士フイルム和光純薬 n: 2

試料	全体	
	試料①	試料②
mean	82.8	124.7
SD	3.10	3.70
CV%	3.75	2.99

メーカー別 集計	試料①			試料②		
	mean	SD	CV	mean	SD	CV
積水メディカル	83.4	1.00	1.15	126.4	1.50	1.15
ミナリス	80.5	1.10	1.39	121.6	1.70	1.40
シノテスト	84.5	1.30	1.53	129.5	2.60	2.04

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ CRP

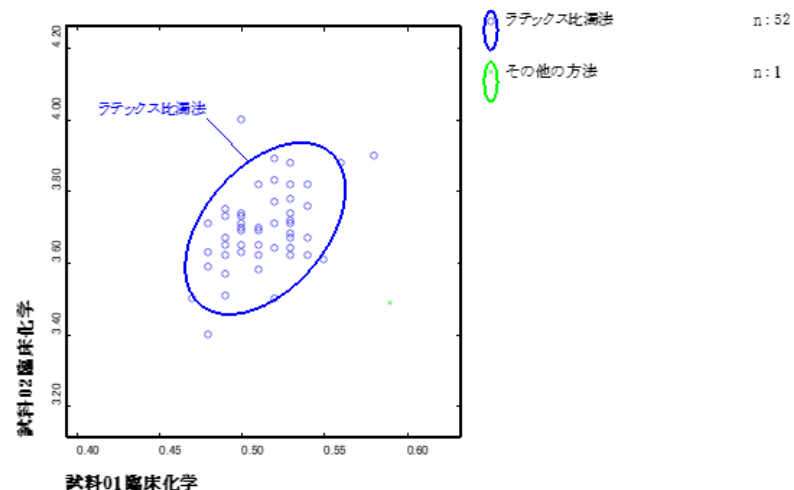
測定法	施設数	%	前年数	日臨%
ラテックス比濁法	53	91	50	93
ドライケミストリー法	3	5	3	7
未回答・その他	2	4	1	—

試料	全体	
	試料①	試料②
mean	0.514	3.691
SD	0.025	0.114
CV%	4.95	3.08

C反応性蛋白定量-統計

mg/dL 1

総件数: 53



1施設でD評価あり。2次サーベイ希望されず

ドライケミストリー法においては、メーカー差が生じた上施設数が少なく、バラツキが大きいいため、全て評価対象外とした。

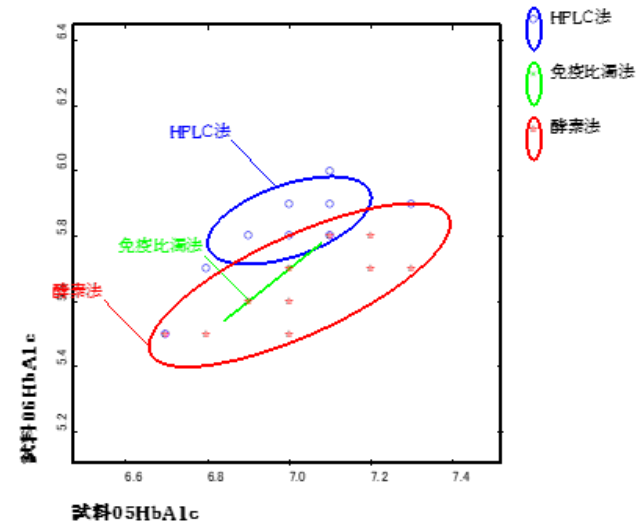
# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ HbA1c

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
HPLC法	32	65	31	66
免疫比濁法	5	10	7	14
酵素法	12	24	9	20

ヘモグロビンA1c (JDS値)-統計

※ 1



総件数: 48

n: 31

n: 5

n: 12

	全 体	
試料	試料⑤	試料⑥
mean	7.00	5.77
SD	0.12	0.13
CV%	1.37	2.20

### ■ まとめ

- 評価方法は日臨技に準拠し評価を行った。
- 全体的にはCV%は1%~3%の項目が多く、良好であった。
- 2次サーベイを受けられた施設は多くはAまたはB評価となった。
- 今回2次サーベイの結果によってBからCになった施設があったため3次サーベイを実施した。その施設はAに改善された。

令和3年度 社団法人  
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

# 各研究班精度管理調査結果報告

---

臨床化学検査

加藤 達弘（土岐市立総合病院）



# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ 評価方法

日臨技の評価方法に準拠した。

項目	評価方法		A	B	C
NA	項目一括評価	平均値からの±mmol/L	±2mmol/L	±3mmol/L	±4mmol/L
K	項目一括評価	平均値からの±mmol/L	±0.10mmol/L	±0.20mmol/L	±0.30mmol/L
CL	項目一括評価	平均値からの±mmol/L	±2mmol/L	±3mmol/L	±4mmol/L
AST	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
ALT	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
LD	項目一括評価	平均値からの±%偏差	3.9%	5.0%	7.5%
ALP	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
AMY	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
CK	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
GGT	項目一括評価	平均値からの±%偏差	5.0%	5.0%	7.5%
ChE	項目一括評価	平均値からの±%偏差	4.7%	5.0%	7.5%

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

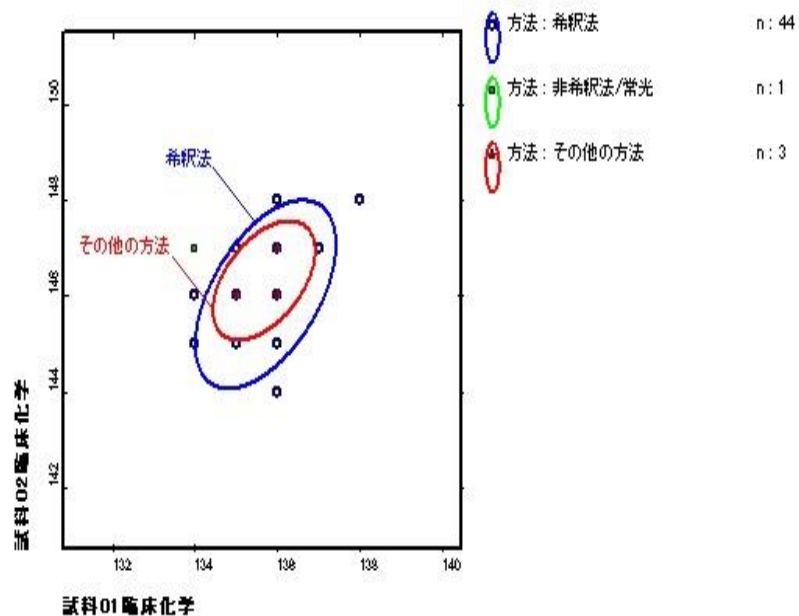
## ■ Na

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
電極法(希釈法)	44	83	40	86
電極法(非希釈法)	1	2	1	5
その他	3	5.5	2	0.2
ドライケミストリー法	5	8.5	5	9

	全 体	
試料	試料①	試料②
mean	135.7	146.0
SD	0.8	0.9
CV%	0.6	0.6

ナトリウム-統計  
mmol/L 1

総件数: 48



評価	A	B	C	D
試料①	48	0	0	0
試料②	48	0	0	0



# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

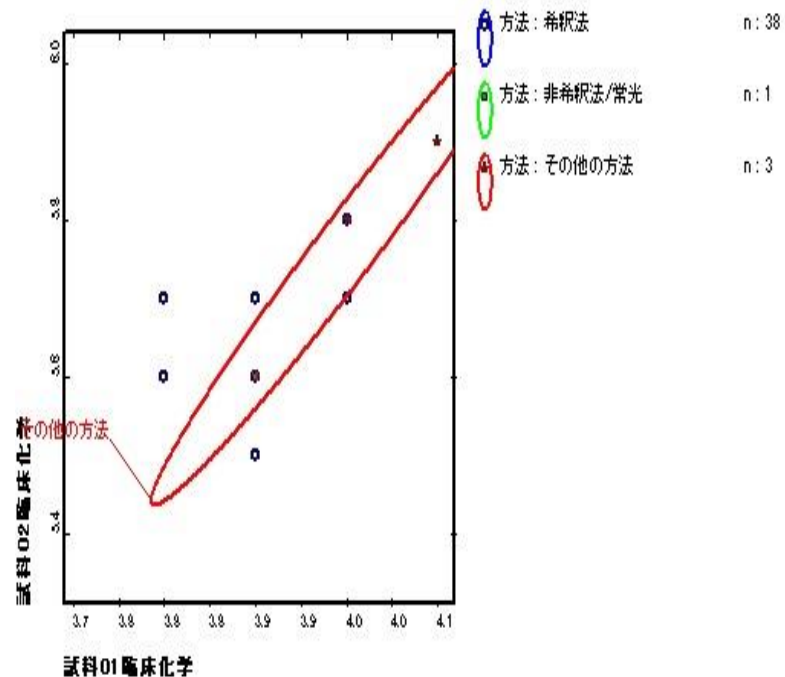
## ■ K

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
電極法(希釈法)	44	83	40	86
電極法(非希釈法)	1	2	1	5
その他	3	5.5	2	0.2
ドライケミストリー法	5	8.5	5	9

試料	全 体	
	試料①	試料②
mean	3.90	5.68
SD	0.00	0.05
CV%	0.00	0.9

カリウム-統計  
mmol/L 1

総件数: 42



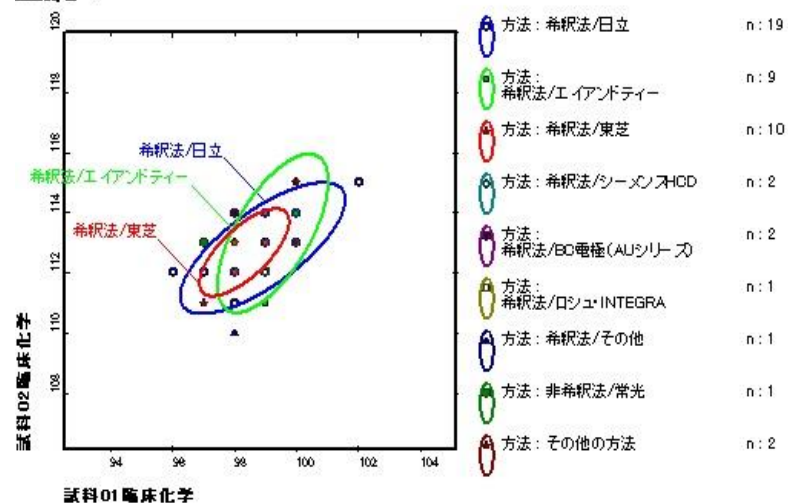
評価	A	B	C	D
試料①	48	0	0	0
試料②	47	1	0	0

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ CI

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
電極法(希釈法)	44	86	40	86
電極法(非希釈法)	1	2	1	5
その他	2	4	1	0.2
未回答	1	2	1	—
ドライケミストリー法	3	6	5	9

クロール-統計  
nmol/L 1



	全 体	
試料	試料①	試料②
mean	98.3	112.7
SD	0.7	0.7
CV%	0.7	0.6

評価	A	B	C	D
試料①	47	1	0	0
試料②	47	1	0	0

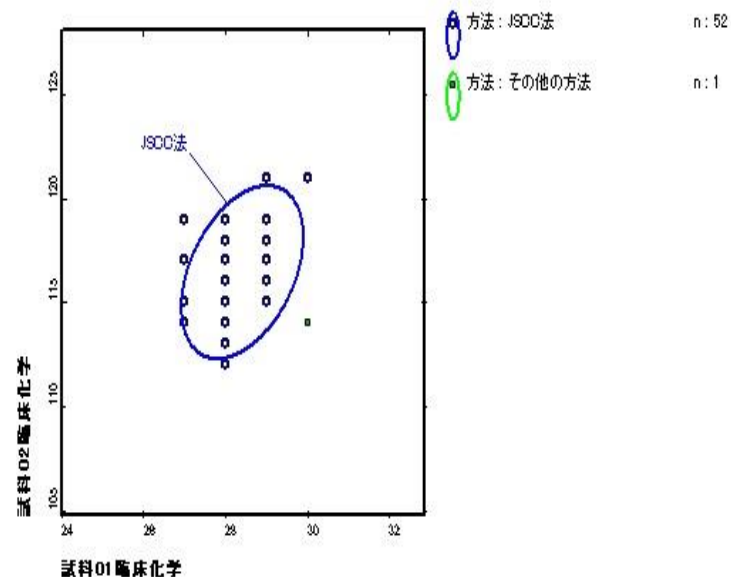
# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ■ AST

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
JSCC法	52	88	49	90
IFCC法	0	0	0	0.1
その他	1	1.5	0	0.1
未回答	1	1.5	1	—
ドライケミストリー法	5	9	7	10

アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ-統計  
37℃国際単位 1

総件数: 53



試料	全体	
	試料①	試料②
mean	28.4	116.5
SD	0.7	1.9
CV%	2.4	1.7

評価	A	B	C	D
試料①	52	0	1	0
試料②	53	0	0	0

2次サーベイ1施設  
(JSCC法 試料① 1施設)

評価C⇒A  
(キラル実施)

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

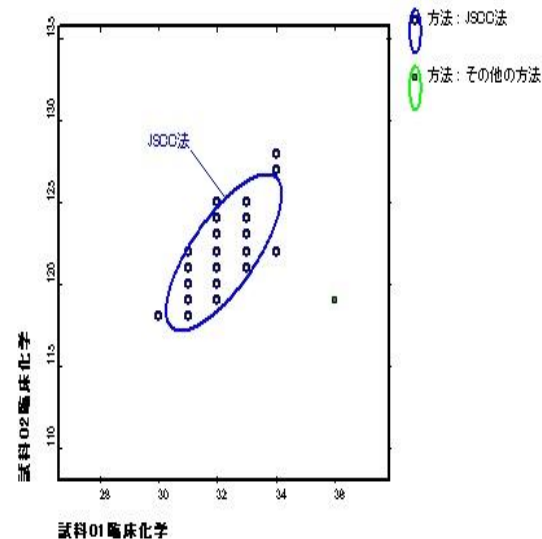
## ■ ALT

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
JSCC法	52	88	49	90
IFCC法	0	0	0	0.1
その他	1	1.5	0	0.1
未回答	1	1.5	1	—
ドライケミストリー法	5	9	7	10

全体		
試料	試料①	試料②
mean	32.2	122.0
SD	0.9	2.2
CV%	2.8	1.8

アラニンアミノトランスフェラーゼ-統計  
37℃国際単位 1

総件数: 53



評価	A	B	C	D
試料①	52	0	1	0
試料②	52	0	1	0

2次サーベイ1施設  
(JSCC法 試料①②  
1施設)

評価C⇒A  
(試薬交、換再キャル)

2次サーベイの結果、  
3次サーベイ対象施設  
が発生

→3次サーベイ実施に  
てA評価

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## ALP

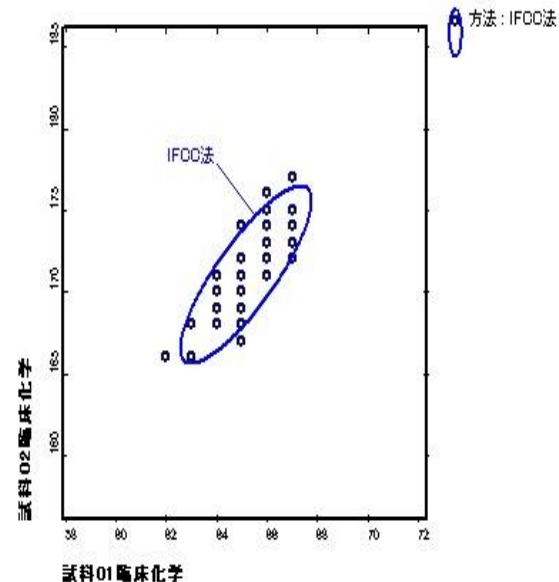
測定法	施設数	%	前年数	日臨%
JSCC法	0	0	43	7
IFCC法	52	95	6	83
ドライケミストリー法	3	5	5	10

	全体	
試料	試料①	試料②
mean	65.2	171.1
SD	1.2	2.5
CV%	1.9	1.5

アルカリフォスファターゼ-統計  
37℃国際単位 1

総件数: 52

n: 52



評価	A	B	C	D
試料①	50	0	1	1
試料②	50	0	1	1

2次サーベイ1施設  
(IFCC法 試料①②1施設)

評価C⇒A  
(試薬交換、再キャル)

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

## LD

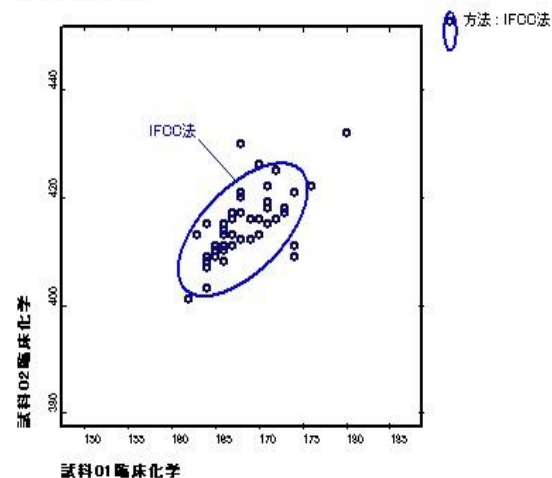
測定法	施設数	%	前年数	日臨%
JSCC法	0	0	43	8
IFCC法	52	93	6	84
その他	0	0	0	0.1
ドライケミストリー法	4	7	7	8

試料	全体	
	試料①	試料②
mean	168.1	414.5
SD	3.4	6.2
CV%	2.0	1.5

乳酸脱水素酵素-統計  
37℃国際単位 1

総件数: 51

n: 51



評価	A	B	C	D
試料①	50	1	0	1
試料②	49	2	0	1

2次サーベイ1施設  
(IFCC法試料① 1施設)

評価D⇒A  
(再キャル、試薬交換)

(IFCC法試料② 1施設)

評価D⇒A  
(入力ミス、再入力)

2次サーベイの結果、  
3次サーベイ対象施設  
が発生

→3次サーベイ実施に  
てA評価

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

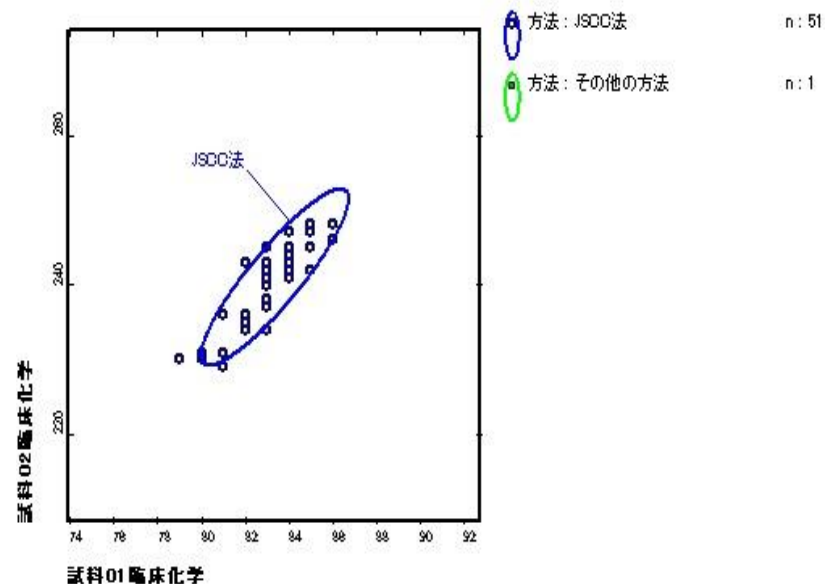
## AMY

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
JSCC法	49	87	46	90
未回答	2	4	1	—
ドライケミストリー法	5	9	6	9

	全体	
試料	試料①	試料②
mean	81.4	233.4
SD	1.2	4.1
CV%	1.5	1.7

アミラーゼ-統計  
37℃国際単位 1

総件数: 52



評価	A	B	C	D
試料①	49	0	0	0
試料②	49	0	0	0

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

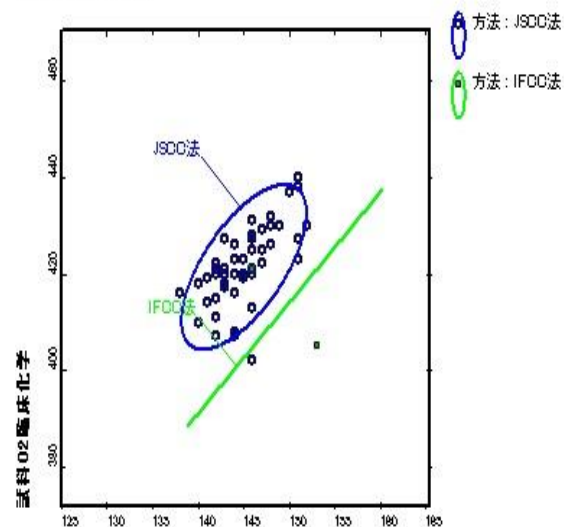
## ■ CK

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
JSCC法	50	86	45	89
IFCC法	2	3	2	0.3
未回答	1	2	1	—
ドライケミストリー法	5	9	7	10

	全 体	
試料	試料①	試料②
mean	145.0	421.5
SD	3.2	7.9
CV%	2.2	1.9

クレアチンキナーゼ-統計  
37℃国際単位 1

総件数: 52



試料01臨床化学

評価	A	B	C	D
試料①	52	0	0	0
試料②	50	0	2	0

2次サーベイ2施設  
(JSCC法試料② 2施設)

評価C⇒A  
(再キャリ)



# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

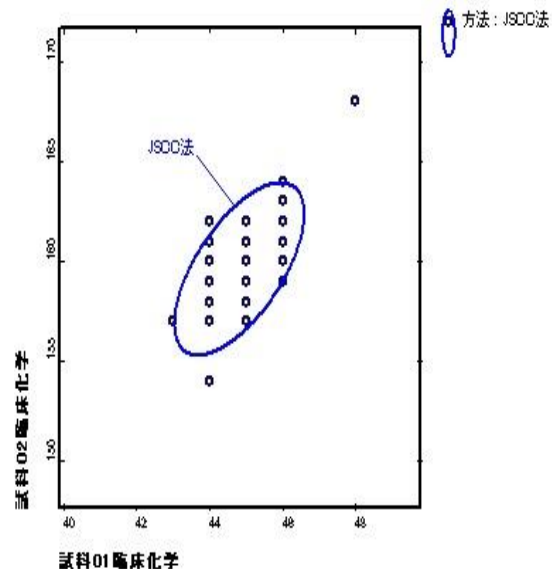
## ■ GGT

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
JSCC法	51	94	49	92
ドライケミストリー法	3	6	5	8

γ-グルタミルトランスフェラーゼ-統計  
37℃国際単位 1

総件数: 51

n: 51



	全 体	
試料	試料①	試料②
mean	44.8	159.7
SD	0.8	1.8
CV%	2.0	1.3

評価	A	B	C	D
試料①	50	0	0	1
試料②	50	0	0	1

2次サーベイ1施設 (JSCC法試料①② 2施設)	評価D⇒A (再キャル)
------------------------------	-----------------

# 各部門 精度管理調査結果報告(臨床化学検査)

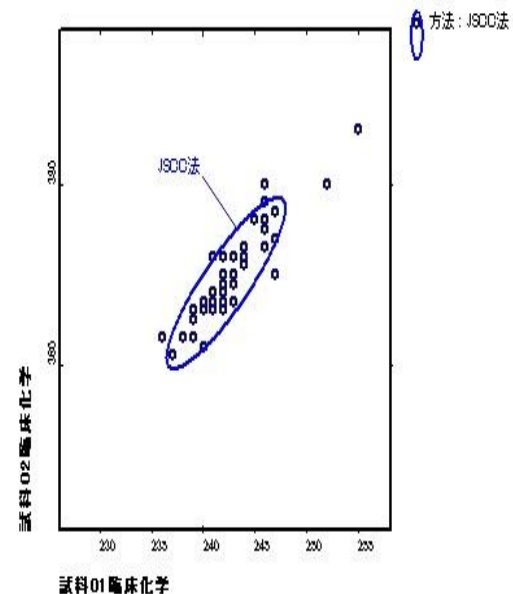
## ■ ChE

測定法	施設数	%	前年数	日臨%
JSCC法	48	94	48	99
ドライケミストリー法	3	6	3	1

	全体	
試料	試料①	試料②
mean	242.2	369.4
SD	2.7	4.6
CV%	1.1	1.3

コリンエステラーゼ-統計  
37℃国際単位 1

総件数: 47



評価	A	B	C	D
試料①	48	0	0	0
試料②	48	0	0	0

### ■ まとめ

- 評価基準は全体の平均値( $\pm 3SD$ を除外)を目標値として、日臨技に準拠し評価を行った。
- 全体的にはCV%は1%~3%の項目が多く、良好であった。
- 2次サーベイを受けられた施設は、再キャリブレーション・試薬交換・機器の整備などを経て、多くは評価が改善された。